

## 第10章 愛知県総合教育センター

### 第1節 事業方針

#### 1 教育研究調査

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会との連携のもとに、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。また、当センターにおける教育研究調査事業の位置付けを明確にして、実態調査・課題把握、研究実践、成果の発信という見通しをもって研究を進める。

#### 2 教育関係職員研修

教育関係職員としての自覚を深め、教育の理念に基づき、意識改革及び資質能力の向上を図るとともに、教育指導に関する基礎的、専門的知識・技能の充実や指導力の向上を目指して、教育実践の場に直結した研修を実施する。

#### 3 教育相談

教育活動の充実・改善のために、一般教育相談・特別支援教育相談・教育関係職員相談を行う。また、各学校及び地域が行う教育相談活動の向上を図るため、教育相談担当者の支援を行う。

#### 4 教育情報収集・提供

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・処理・提供及び教育情報通信ネットワーク等の管理・運営を行う。また、コンテンツの作成・充実を図りその他図書資料や教材教具の貸出し等を行う。

#### 5 生徒実習

農業教育(農業教育共同実習所)

県内の高等学校の農業に関する学科及び系列で学ぶ生徒を対象として、農業機械に関する基礎的な技術・技能と知識を習得させ、実践力を高めるため、集中的・効率的な農業機械実習を行う。また、希望者に対して農業機械等の運転資格等取得のための講習を行う。

### 第2節 事業概要

#### 1 教育研究調査事業

教育研究調査の事業方針に基づき、重点を次の三点とする。

- (1)学校の教育課題及び教育行政上の今日的な課題を探り、それに応える。
- (2)研究と研修との連携を一層図り、研究成果を研修講座の充実・改善に生かす。
- (3)研究成果の発信と学校現場への普及・活用を図る。(研究発表会、研究紀要(CD、別冊)、ホームページ、研修講座等)

平成 19 年度において行った研究・調査は、次のとおりである。

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程	1	授業改善に関する研究 - 子供理解と授業づくりを通して -	新しい学力観、指導観に基づく授業分析の在り方と授業改善への生かし方等について調査研究する。	共同研究 協力委員
	2	学校評価の在り方に関する研究	小中高等学校・特別支援学校において、外部評価を含めた学校評価の在り方について調査研究する。特に、各校が責任ある学校運営と情報発信を行うための資料を作成する。	共同研究 協力校
	3	「読解力」を高めるための教科連携の在り方に関する研究	PISA 型「読解力」の育成には、校種や教科を超えた視点で教材を見直して研究実践を行う必要があるため、教材の指導法について教科連携の視点で協議する。	共同研究 協力委員
各教科等の専門分野	4 - 1A	教科指導の充実に関する研究（国語）	A：高等学校における教科指導の現状把握と指導上の課題等について調査研究する。  B：児童生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等について調査研究する。	共同研究 協力委員
	- 2A	同（地歴・公民）		
	- 2B	同（社会）		
	- 3A	同（数学）		
	- 4A	同（理科）		
	- 4B	同（理科）		
	- 5A	同（英語）		
- 6B	同（技術・家庭）			
5 - 1	産業教育の充実に関する研究（農業・水産）	産業教育に関して、生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等について調査研究する。	共同研究 協力委員	
- 2	同（工業・商業）			
- 3	同（家庭・看護・福祉）			
6	特別支援教育の充実に関する研究	特別な教育的ニーズのある子供たちの教育に関するコンテンツを開発・収集し、その支援の在り方等について調査研究する。	共同研究 協力委員	
7	「食育」に視点を据えた児童生徒の指導の在り方に関する研究	児童生徒の食生活を見つめ直し、地域の食材や日本の伝統食にも目を向けた、よりよい食の指導の在り方について研究する。	共同研究 協力委員	
学校の課題や実情	8 - 1	高等学校新入学生徒の学力に関する研究（国語）	全県的な規模における高等学校新入学生徒の学力の実態把握及び教科指導の在り方について研究する。	共同研究 協力委員
	- 2	同（数学）		
	- 3	同（英語）		
	9	情報教育推進のための調査研究	県内の小中高等学校における実態調査に基づく情報教育の在り方について研究する。	所内研究
	10	幼児教育指導者の資質向上に関する研究	幼稚園教育の充実に向けて、現場に即した教育課程の編成の在り方及び初任者が指導計画を立てる際に参考となる資料について研究する。	共同研究 協力校
	11	指導力向上研修の在り方に関する研究	教員の指導力向上のための効果的な研修プログラム等について研究する。	所内研究
	12	キャリア教育推進に関する調査研究	学校生活から社会生活への移行を視野に入れ、自己と働くこととの関係付けや人生における働くことへの価値付け等について小中高等学校の連携を中心に研究する。	共同研究 協力委員
13	特別支援教育コーディネーターの連携に関する研究	小中学校における特別支援教育体制の確立に向け、コーディネーターの設置状況と校内支援体制について調査し、現状と課題を把握して次のステップを研究する。	所内研究	
14 - 1	インターネットの教育利用に関する調査研究（参加・交流）	ネットワーク及びインターネットの活用促進について調査研究する。	共同研究 協力委員	
- 2	同（校内 LAN）			
教育相談	15	心の発達の支援に関する研究 - 振り返りを重視して -	児童生徒の不適応を予防し、自ら未来を開発していく力を身に付けさせるために、参加型体験学習の授業案を開発し、その方法や留意点等について研究する。	共同研究 協力委員
	16	早期の相談ネットワークの構築に関する研究	特別支援学校のセンター的機能を活用し、近隣の幼稚園在籍の発達障害幼児に、早期の相談活動を展開し、就学に向けた移行支援に取り組む。	共同研究 協力校
4 - 4C	実験・観察融合型デジタル教材活用共同研究	理科におけるデジタル教材の活用・普及に関する研究を、愛知教育大学と連携して進める。	共同研究 協力委員	

## 2 教育関係職員研修事業

幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校における教育実践上の諸問題を解決するため、次の事項に留意して研修を行った。

(1)教育実践に役立つ研修

(2)参加者が意欲的に取り組むことができる研修

平成19年度に実施した研修は、次のとおりである。

### ア 研修区分・対象校種別講座(コース)数

対象校種別		幼 保	小	中	高	特	小 特	中 特	高 特	幼 小	小 中	幼 小 中	小 中 特	中 高 特	幼 小 中 特	小 中 高 特	幼 小 中 高 特	小 中 高 特 他	幼 小 中 高 特 他	合 計
基本研修	新規採用 教員研修	1	1	1	1	1			1							1				7
	教職経験者 研修	1	2	2	2	2										2				11
職務研修		1		1	1	2			8		4		1			1				19
課題研修		1	1		1				3			1				3	1		1	12
専門研修		1	1	1	2	1	4	2	10	1	1	2	4	5	1	12	16			64
長期研修					5	1			1		2		3			1		1		14
合計		5	5	5	12	7	4	2	23	1	7	3	8	5	1	20	17	1	1	127

### イ 研修受講者数

(単位：人)

区 分		幼	小	中	高	特	その他	合計
研修人員	教員等	360	2,797	1,637	3,197	1,071	60	9,122
	学校事務 職員等			317		86		403
	計	360		4,751		4,354	60	9,525
研修延人員	教員等	926	10,940	6,645	9,076	3,817	95	31,499
	学校事務 職員等			1,011		88		1,099
	計	926		18,596		12,981	95	32,598

1 教員等研修のうち長期研修・派遣研修を除く。

2 「その他」は、社会教育主事、保育士等。

## 3 教育相談事業

(1)一般教育相談

ア 対象

児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

身体・精神、不登校、いじめ、非行、学業、進路、家庭教育等

ウ 日時

月～金曜日 午前9時～午後5時

平成 19 年度の相談実施状況は、次のとおりである。

(ア)面接相談

(単位：回)

内容別	対象別	小学生	中学生	高校生	その他	合計
身体・精神		197	4	202	28	431
学業		31	39	13	0	83
不登校		217	218	715	17	1,167
いじめ		2	13	16	0	31
非行等		6	6	32	0	44
性格等		105	5	58	54	222
進路・適性		0	3	9	44	56
家庭教育		92	12	121	21	246
その他		10	10	42	3	65
合計		660	310	1,208	167	2,345

(イ)電話相談

(単位：回)

内容別	対象別	小学生	中学生	高校生	その他	合計
身体・精神		25	11	82	19	137
学業		10	20	5	0	35
不登校		57	96	224	2	379
いじめ		15	14	17	2	48
非行等		1	11	20	0	32
性格等		23	4	32	17	76
進路・適性		6	16	44	26	92
家庭教育		72	70	91	12	245
その他		104	80	95	12	291
合計		313	322	610	90	1,335

(2)特別支援教育相談

保護者及び教育関係職員並びに関係機関からの要請に応じ、障害のある幼児児童生徒等に対する教育相談を実施し、障害児の発達の援助を行っている。

ア 相談の対象

障害のある幼児児童生徒及びその保護者並びに関係教職員等

イ 相談の内容

(ア)家庭におけるしつけや養育について

(イ)幼稚園・学校等における指導について

(ウ)就学について

平成 19 年度相談実施状況は、次のとおりである。

(単位：回)

内容別	対象別	就学前	小学生	中学生	高校生	小計	保護者	教職員等	合計
家庭養育に関する事		57	65	5	2	129	200	6	335
就学相談に関する事		232	31	3	0	266	404	15	685
訓練・指導法に関する事		25	294	56	7	382	630	43	1,055
障害の程度に関する事		29	60	12	0	101	199	5	305
その他に関する事		0	1	0	0	1	6	4	11
合計		343	451	76	9	879	1,439	73	2,391

対象幼児児童生徒の障害別内訳

(単位：回)

視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	言語障害	情緒障害	その他	合計
4	7	88	53	2	2	675	48	879

(3)教育関係職員相談

県内の教育関係職員の身上・生活上の様々な問題について、弁護士・専門医・相談員が相談に応じ、その解決のために援助を行い、福祉を増進しようとするものである。土地建物の賃貸借や売買、遺産相続、交通事故の示談や賠償などの法律問題をはじめ、職務上の悩み、家族や生活上の問題、精神健康に関する問題など、平成19年度中に合計359回の相談があった。

4 教育情報収集・提供事業

(1)教育情報処理

教育情報の収集・処理・提供を通じて、教育活動や教育研究の質的向上を図るとともに、教育関係者のコンピュータ利用に対する関心と理解を深めるため、アンケートの集計処理、生徒指導データ処理、統計分析処理等の処理サービスを行っている。

(2)図書資料

教育関係の専門図書、研究紀要、研究報告書、教科書、教育関係雑誌を収集・整理して、閲覧に供し、図書の貸出しを行っている。

研究紀要、研究報告書等については、コンピュータによる文献検索サービスを行い、教育関係者の利用に供している。

ア 保有数

(20.3.31現在)

教育関係図書	研究紀要・研究報告書	教科書	雑誌	新聞
46,137冊	61,202冊	21,517冊	53種	3種

イ 平成19年度利用状況

開館日数	入館者数	利用図書冊数
245日	3,764人	19,449冊

(3)教材教具ライブラリ

幼稚園・小学校・中学校・県立学校をはじめ、社会教育関係機関や団体を対象とする教材・教具を収集・整備して、貸出しを行う。

ア 保有数

(単位：本)(20.3.31現在)

種別	数量	種別	数量
16ミリフィルム	1,697	ビデオテープ	2,196
D V D	56		

イ 平成19年度16ミリフィルム利用状況

(単位：本)

学校教育	利用数	社会教育	利用数
保育園・幼稚園	23	P T A ・ 高齢者等	2
小・中学校	0	子ども会	0
県立学校	7	官公署	0
その他	1	その他	0
合計	31	合計	2

ウ 平成19年度ビデオテープ利用状況

(単位：本)

学校教育	利用数	社会教育	利用数
保育園・幼稚園	6	P T A ・ 高齢者等	0
小・中学校	62	子ども会	0
県立学校	48	官公署	17
その他	10	その他	27
合計	126	合計	44

(4)ソフトウェアライブラリ(平成19年度末で廃止)

各種教育用ソフトウェアを検索・試用することにより、授業等への活用や購入時の参考とするために、ソフトウェアを整備している。

ア 概要 (20.3.31現在)

保有数	利用者数	試用数
2,096本	444人	0本

イ 平成19年度利用者数内訳 (単位:人)

小学校	中学校	県立学校	その他	合計
171	114	147	12	444

(5)愛知県教育情報システム(AIES)

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

ア 主なデータベース

データベースの分野	主な内容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報
視聴覚教育関係情報	教材教具ライブラリが保有している視聴覚教材等の情報
国立教育政策研究所関係情報	全国の教育センター等刊行論文、実践的教育研究主題、博士・修士論文題目、全国の教育センター等における教職員研修講座の情報

イ 利用方法

総合教育センターのホームページ(URL: <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>)及び

愛知エースネットのホームページ(URL: <http://www.aichi-c.ed.jp/>)から利用できる。

(6)愛知県教育情報通信ネットワーク(愛知エースネット)

県内の教育関係機関がインターネットへ接続するための拠点となるとともに、接続する学校間で情報交換ができるサービスを提供する。また、愛知エースネットを経由することで、有害情報へのアクセスを制限する。

ア 主なサービス内容

(ア)公開用ホームページと内部用ホームページの開設

(イ)電子メールの利用

(ウ)インターネットニュース及び内部ネットニュースの利用

(エ)愛知県教育情報システム(AIES)データの提供

(オ)コンテンツの提供

イ 利用校等 (平成19年度末現在)

校種等	接続数	備考
小学校	53校	A D S L等 10校 ・ I S D N等 43校
中学校	26校	A D S L等 7校 ・ I S D N等 19校
県立学校	178校	A D S L等 176校 ・ I S D N等 2校
その他	3機関	A D S L等 1機関 ・ I S D N等 2機関
合計	260機関	A D S L等 194機関 ・ I S D N等 66機関

5 平成 19 年度普及事業の概要

(1) 研究発表会

第 47 回愛知県総合教育センター研究発表会（平成 19 年 11 月 20 日）

ア 講演

演題「誰が学力を獲得するのか - 学力政策の課題 - 」

イ 研究発表(7 部会)

部会 番号	発 表 題 目	会 場
1	授業改善に関する研究（全体会と 4 分科会） - 確かな授業力を目指して -	全体会：講堂（講義） 分科会：第 1・2・3・4 講義室
2	学校評価の在り方に関する研究（2 分科会）	小 中：視聴覚室 県 立：第 11 講義室
3	高等学校理科における読解力の育成に関する研究	第 10 講義室
4	食育に視点を据えた児童生徒の指導の在り方に関する研究	第 5 講義室
5	キャリア教育推進に関する調査研究	教育工学演習室
6	心の発達の支援に関する研究	大講義室
7	I C T 利用に関する研究	第 1 情報実習室

(2) 主な刊行物

ア C D - R O M による研究刊行物

研究紀要 第 97 集

イ 研究紀要別冊

「平成 19 年度高等学校新入学生徒の学力に関する研究〔国語・数学・英語〕」

(3) 要請訪問

県内の教育活動推進のため、研究相談に応じたり、要請により職員を派遣し、指導助言にあたる。

(上欄は件数、下欄は対象人数)

内容 対象	生徒 指導	教科 指導	進路 指導	家庭 教育	特別支 援教育	教材 制作	教育 相談	道徳 教育	審査 発表	情報 処理	その他	合 計
幼 児					9							9
					36							36
児 童 生 徒							1		12		1	14
							400		1,750		100	2,250
教 員		95			80		16		3		17	211
		3,027			4,008		642		700		649	9,026
P T A												
一 般 (高 齢 者)												
一 般 (サークル)												
そ の 他							7					7
							581					581
合 計		95			89		24		15		18	241
		3,027			4,044		1,623		2,450		749	11,893

6 平成 19 年度生徒実習の概要

農業教育（農業教育共同実習所）

(1) 生徒実習（対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 2 年生）

ア 参加生徒

( ) は女子数（内数）

区 分	農 園 系 学 科	農 土 林 系 学 科	生 活 食 料 系 学 科	総 合 学 科	計
参 加 学 級 数	13	7	9	2	31
参 加 生 徒 数	498 (262)	227 (49)	330 (265)	53 (26)	1,108 (602)
宿 泊 延 べ 生 徒 数	1,480 (783)	677 (147)	659 (530)	104 (50)	2,920 (1,510)
日 程	3 泊 4 日	3 泊 4 日	2 泊 3 日	2 泊 3 日	
参 加 学 科 系 列 数 内 訳	農 業 (3) 園 芸 (3) 農 業 園 芸 (1) 施 設 園 芸 (1) 生 物 工 学 (2) 動 物 科 学 (1) 生 物 生 産 (1) 園 芸 科 学 (1)	農 業 土 木 (1) 環 境 デ ザ イ ン (2) 農 業 工 学 (1) 林 業 (1) 林 産 工 芸 (1) 森 林 工 業 (1)	生 活 学 科 (5) 生 活 ・ 経 営 (1) 食 品 科 学 (3)	ア ｸﾞ リ ｸﾞ 以 外 系 列 (1) 環 境 デ ザ イ ン 系 列 (1)	

イ 内容

(7) エンジン分解・組立実習

区 分	実 習 内 容	実 施 学 科 ・ 系 列 数	
		農 園 系	農 土 林 系
A	2 種類のエンジン分解・組立 4 サイクルガソリンエンジン 2 サイクルガソリンエンジン	3	1
B	2 種類のエンジン分解・組立 男子：4 サイクルディーゼルエンジン及び 4 サイクルガソリンエンジン 女子：4 サイクルガソリンエンジン及び 2 サイクルガソリンエンジン	10	6
生 活 食 料 系	4 サイクルガソリンエンジンの分解・組立	9	
総 合 学 科	4 サイクルガソリン又はディーゼルエンジンの分解組立	2	

(1) 運転実習

学 科	区 分	実 習 内 容	実 施 学 科 数
農 園 系	A	どの区分もトラクタ基本運転 3 コースと下記の応用運転 ロータリ耕うん・トラレけん引	1
	B	ロータリ耕うん・施工機械（トラクタショベル又はホイールローダ）	4
	C	トラレけん引・施工機械（トラクタショベル又はホイールローダ）	2
	D	施工機械（トラクタショベル・フルト-ザ）	1
	E	施工機械（トラクタショベル・ホイールローダ）	4
	F	施工機械（トラクタショベル・フォークリフト）	1
農 土 林 系		トラクタ基本運転 1 コース・施工機械 3 機種選択 （フルト-ザ、トラクタショベル、ホイールローダ、フォークリフト）	7
生 活 食 料 系		トラクタ基本運転 3 コース	9
総 合 学 科		トラクタ基本運転 3 コースは施工機械運転とトラクタ運転	2

(2) 資格取得講習（対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 3 年生）

( ) は女子数（内数）

講 習 名	日 程	参 加 人 数
小型車両系建設機械（農園系）	3 日	13 ( 2 )
小型車両系建設機械（農土林系）	2 日	11 ( 4 )
フォークリフト運転技術講習	2 日 (4 回)	16 ( 3 )
農業機械技術講習	1 日 (2 回)	8 ( 3 )
大型特殊自動車運転技能講習	3 日 (1 回) 自由練習 6 日	9 ( 0 )
計		57 (12)